

本学チーム 世界連覇

ロボカップ2015 キッドサイズサッカー+テクニカル



2年連続で世界王座に輝いた未ロボ・チームとCIT Brains ロボット 決勝戦の様子



ルール変更 克服し

未来ロボティクス学科のチーム「CIT Brains」が2年連続の世界王座に輝いた。7月17日から23日まで中国・安徽省の省都、合肥市で開かれた「ロボカップ世界大会2015」のヒューマノイドリーグ・キッドサイズ部門で、「CIT Brains」はサッカーゲームとテクニカルチャレンジを昨年に続いて制覇。初出場のアダルトサイズ部門でもそれぞれ4位と2位に入り、「CIT」の名を世界に轟かせた。

サッカーヒューマノイドリーグは2015年に大きなルール改正を行った。一つはボール変更。人間が使うような、白色の混じったボールを使うことになった。二つ目はフィールド変更。カーペットから人工芝となった。「CIT Brains」はこの変更に対応し今年5月の国内戦「ロボカップジャパンオープン2015福井」でもサッカーと

テクニカルチャレンジを制覇。勢いに乗っての出場だったが、世界大会にはさらなる困難が待ち受けていた。

最大の障害はボール認識。福井大会では白・黒・青・緑・オレンジなどの多色ボールが使われたが、中国大会では白と灰色のボールが採用された。このため「CIT Brains」が福井大会で成功したカラーヒストグラム技術ではボールを認識できず、認識システムをゼロから作り直さざるを得なかった。

そこでチームが開発したのが、ボールを形で判断する「テンプレートマッチング」技術。世界大会まで1カ月を切る綱渡りの開発となった。

また福井大会では会場の都合でフィールドはカーペットだったが世界大会ではルール通りの人工芝入り、1対0で「CIT Brains」が辛勝した。

ちなみに昨年からここまで「CIT Brains」は世界大会で無敗、今年に入ってからは無失点を続けている。

また、テクニカルチャレンジは①ハイキック②プッシュ・リカバリー③ジャンプ④ゴールキック

「CIT Brains」は予選を順調に勝ち進み、準々決勝ではオーストラリアの「Indbots」を2対0、準決勝ではインドネシアの「EROS」を1対0で破り、決勝戦は中国の強豪、浙江大の「ZJU Dancer1」の対戦。

2013年オランダ大会では3位決定戦で「CIT Brains」が敗れ、今年福井大会で総当たり戦の勝敗差で雪辱した因縁の対決。ゲームは0対0のまま延長戦に入り、1対0で「CIT Brains」が辛勝した。

成績はサッカー4位、テクニカルチャレンジ2位。この日も「CIT Brains」の技術力の高さを示した。

「CIT Brains」は2017年は名古屋で今世界大会期間中に2017年のロボカップ世界大会を名古屋で開催することが決まった。名古屋は2050年までにサッカーW杯のチャンピオンに勝つ自律型のヒューマノイドロボットを作る」という目標を掲げて、1997年に最初のロボカップ世界大会が開かれた発祥の地。名古屋では屋外フィールドで試合することも決まった。

NEWS CIT

2015 8・9 合併号
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 曾根君、統計検定優秀賞/S-CU BE軌道投入へ/卒研で奨励賞/山崎教授IEEE論文賞
- 3面 院生にLTEタブレット/福島で山口教授講演/デザイン科学生のビーチサンダル商品化/メキシコ、台湾学生来訪/茨城高専と連携協定
- 4面 原寸D51段ボールで/校友「馬場信明氏、吉成敦氏」
- 5面 タイ文化と食を体験/浴衣の着付け講習/夏企画に100人/天体望遠鏡で観望会/未来人「松本陽祐さん」
- 6面 サイエンスショー、ロボット操縦体験/7月オープンキャンパス

メキシコ大使 御宿に

▼ 本学研修センターなど視察



メキシコのカルロス・フェルナンド・アルマダ・ロペス駐日大使夫妻が8月27日、千葉県御宿町を訪れ、本学の研修センターなどを視察した。

江戸時代に御宿の村人が難破したメキシコ船の乗組員を助けた縁で、御宿町の本学研修センターでロペス駐日大使夫妻と瀬戸熊理事長

御宿町とメキシコは現在も密接な友好関係を保っている。その一環で町は昨年に続き今年もメキシコからの短期留学生を受け入れた。本学も留学生の研修センターでの宿泊や学生交流などで協力し、日墨友好に一役買っている(3面に関連記事)。

曾根君 統計検定優秀賞



「3級」に挑戦 3人が合格

ビッグデータの活用が求められる社会で、データの扱い方を問う資格試験「統計検定」3級Ⅱ6月21日、千葉工大会場でⅡに、情報ネットワーク学科3年生7人が挑戦。3人が合格し、そのうち曾根悠斗君Ⅱ写真Ⅱが優秀賞を獲得した。

統計検定は、日本統計学会が中高生・大学生・一般人を対象に、統計の

知識や活用力を資格認定する全国統一試験。3級は高校の必修科目「数学Ⅰ」データの分析」を基に、データを分析に重要な概念の理解と、身近な問題に生かす力を問う。

山崎治・情報ネットワーク学科准教授と杉山和成・教育センター(数学教室)准教授が進路指導の一環として挑戦を呼びかけた。応じた7人は約半年間、隔月に1回、勉強会に出席し過去問題に

沿って指導を受けた。3級検定は、基本的概念に加えて▽標準調査▽データの散らばりの指標▽データの散らばりのグラフ表現▽2変数の相関▽確率―などについて、マークシート方式の4〜5肢選択問題約20問を制限時間60分で解く。グラフから資料の特徴を読み取る方法や、目的に応じて資料を分析するグラフを使い分けることなどを丁寧に解説してくれた杉山准教授の指導と、曾根君たちの自主努力が実った。

曾根君は、進路選択に役立つと考え受験。「合格者は受験者の約60%、優秀賞は10%程度というので、勉強の成果がきちりと形になって、うれしい。進路を見据え、目標を持って行動を起こすことが大切だと感じました」と語った。

統計検定が認定する能力は、21世紀型スキルとして国際的に広く認められ、米国では高校生約10万人が検定を受験。大学側もその結果を入学選抜に反映させているという。企業が新入社員に学んでほしい数学分野のトップも、統計学という。

卒研が奨励賞に

機サの小山さん・高村さん

機械サイエンス学科の小山大貴さんと高村真さんともに瀧野日出雄研究室・今年3月卒業Ⅱが、砥粒加工学会主催の卒業研究発表会に瀧野教授と連名で発表した論文「焼結金属の旋削加工における工具摩耗特性」が、工作機械技術振興財

団が選ぶ26年度(第36次)工作機械技術振興賞のうち奨励賞に決まった。6月22日、東京・霞が関の東海大校友会館で開かれた授賞式で表彰された。

小山さんと高村さんは瀧野教授の指導の下、組成の異なる焼結金属を種



(左から)高村さん、小山さん、瀧野教授

々の切削工具で旋削加工して、切削工具の摩耗特性を調べた。そして焼結金属に含まれる各成分が、工具摩耗にどう影響するかを詳細に明らかにした。

瀧野教授は「就職する学生は、学内の卒業発表が終われば最後の春休みを満喫するのが普通ですが、受賞した2人は卒業発表後も何日も大学に来て学会発表の準備をしながら、その努力が報われて本当によかったと思います」と語った。卒業後、小山さんは工業用精密工

△部品開発の興国インテックに、高村さんは精密機械部品生産の平和産業に勤務している。

工作機械技術振興財団は、工作機械技術に関する各種学会の研究発表論文集の中から、工作機械技術振興賞として2つの賞(論文賞、奨励賞)を贈っている。奨励賞は卒業研究を対象とするもので、今年度は、日本機械学会、精密工学会、砥粒加工学会で発表された154件の中から8件が選ばれた。

S-CUBE 軌道投入

来月にも流星紫外線の観測始動

本学惑星探査研究センター(PERC)の超小型衛星「S-CUBE」(エスキューブ)による世界初の流星紫外線観測が10月下旬にスタートする予定だ。日本初の3Uキューブサットである「S-CUBE」はPERCを実施責任機関とし、東北大学と共同で開発する、大学独自の先進的プロジェクト。宇宙惑星探査の新たな方向性を切り開く期待されている。

力や通信、観測機器の健全性確認などの初期運用を行った後、10月下旬から約1年間、流星紫外線を観測する。

観測運用は1号館の屋上に設置された直径2.5mのパラボラアンテナを通して、同館19階に設けた衛星運用室で行われる。

この地上運用システムは、本学が02年に開発した日本初の大学衛星である鯨生態観測衛星「WEOS」の地上局を改修したもの。

「S-CUBE」が観測の標的とする流星は、太陽系が誕生したころにできた天体(太陽系原始

天体)である彗星や小惑星の塵の輝線の同定(硫酸の検出)だ。もし硫酸を含む

なかもこのミッションで重視されているのが、生命必須元素の一つで、また観測例がない硫酸の輝線の同定(硫酸の検出)だ。もし硫酸を含む

「S-CUBE」による観測が10月下旬に予定通り始められ、最初に遭遇するのはハレー彗星を母天体とするオリオン座流星群となる。

一方、ISSからの可視光による流星の長期観測プロジェクトで、「S-CUBE」プロジェクトと相互補完関係にある「兄弟ミッション」の「メテオ」は、3度目となる年度内の打ち上げに向けて順調に準備が進んでおり、同時観測への期待が高まっている。

「S-CUBE」が発した宇宙環境観測装置(KASPER)の一部。宇宙には老朽化したり、事故や故障で制御不能となったりした人工衛星やロケットの部品などが無数に浮遊している。大部分は大気圏に落ちて燃え尽きるが、人工衛星やISSなどに衝突すれば大事故につながる可能性がある。CDMは100倍以下の微小な宇宙ゴミが衝突した際の振動をとらえ、電気信号に変換する装置。

山崎克巳・電気電子情報工学科教授の研究室と(株)安川電機(本社・福岡県北九州市)が、IEEE E(アイ・トリプル・イー)米国電気電子工学会(IEEE Transactions on Energy Conversion



山崎克巳教授

日本人初 IEEE 論文賞

山崎教授 誘導電動機の新等価回路提案

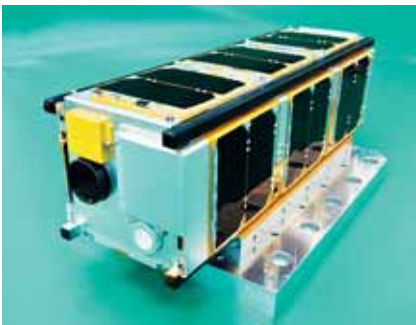
(電力・エネルギー部門論文誌)に発表した論文が、IEEEの2015年論文賞に選ばれた。IEEEは世界最大の電気電子情報技術者の学会で、同部門論文誌での日本人の受賞は賞創設以来、初めてという。

論文は「Circuit Parameter Determination Involving Stray Load Loss and Harmonic Torques for High Speed Induction Motors」(漂遊負荷損と高調波トルクを含む高速誘導電動機の回路パラメータの決定)。

山崎教授の説明によると、交流モーターで代表的な誘導電動機は、新幹線の主電動機や各種生産設備などに幅広く用いられ、多くの先進工業国で全電力の約半分を消費している。効率よく動作させるため、電動機の特長を算定する等価回路が用いられるが、近年普及してきたインバータ

同論文誌では毎年、過去3年間の掲載論文について、論文誌編集委員会が投票で3件を最良論文と認定している。山崎教授の論文は今年の投票で2位の票を集め、受賞が決まった。

表彰式は7月30日、米国アンバーで行われた。論文誌編集長から賞状が授与された後、山崎教授は5分間、受賞スピーチを行った。



⑤「S-CUBE」 ⑥1号館屋上のアンテナ



「S-CUBE」の観測装置も順調に動作し、共同開発した「5号機」の5号機の外側に取

「5号機」の5号機がISSでの任務を終えて切り離され、大気圏に落下するに伴ってCDMも一緒に燃え尽きる。

山崎克巳・電気電子情報工学科教授の研究室と(株)安川電機(本社・福岡県北九州市)が、IEEE E(アイ・トリプル・イー)米国電気電子工学会(IEEE Transactions on Energy Conversion

同論文誌では毎年、過去3年間の掲載論文について、論文誌編集委員会が投票で3件を最良論文と認定している。山崎教授の論文は今年の投票で2位の票を集め、受賞が決まった。

表彰式は7月30日、米国アンバーで行われた。論文誌編集長から賞状が授与された後、山崎教授は5分間、受賞スピーチを行った。

院生にLTEタブレット

ノキア、ソフトバンクが無償貸与

本学は8月26日、ノキアソリューションズ&ネットワークス株式会社（ノキアネットワークス）、ソフトバンク株式会社と、LTE対応タブレットの活用プログラムに合意し、今年度入学した大学院生にLTEタブレットを無償貸与される。

本学では平成25年から学内でWiFi（構内無線LAN）タブレットを利用。これに対しLTEタブレットは、携帯電話同様、場所を問わず学外で広範囲に高速通信で

今後、両社エンジニアによる特別講座や、教員・学生との座談会などによる特別講座や、教員 予定している。

山口教授 福島で講演



大震災後の地域産業戦略立案へ

内閣府の「まち・ひと・しごと創生本部」が今年4月、地方自治体向け

に供用開始した「地域経済分析システム」（RESAS）を活用するためのビッグデータの福島県主催（日本立地センター受託）の研修会が7月、同県内3カ所で開催され、社会システム科学部の山口和教授が「真」が講演した。RESASは安倍内閣

瀬戸熊修理事長は「貸与いただいたタブレットは、大学院生を中心とする地域貢献活動の大きな力になると確信している」とコメントした。

鳥島と県内市町村の職員にRESASを活用した産業振興施策の検討プロセスを理解して、そのスキルを身に付けてもらうのが狙い。東日本大震災後の地域産業戦略の書写

真を描ける人材の育成が主眼だ。基礎研修、応用研修、他地域との意見交換の3ステップがあり、山口教授が担当したのはこのうちの基礎研修。

同教授は経済産業省出身で、専門は科学技術政策論、産業技術政策論、技術経営論、産学連携学など。3日間の講演では最新の経営理論と産業政策立案の実際に基づい

て、政策立案の検討ポイントを理論的かつ体系的に講義。受講者によるグループディスカッションのアドバイスを務めた。

メキシコの学生らは7月9日から8月9日まで日本に滞在。御宿研修センターで日本語を研修し、御宿町で地元小・中学校と交流会やホームステイを体験。両国文化の違いを語り合うパネルディスカッションをするなど友好を深めた。

メキシコ、台湾学生を迎えて

学生寮で歓迎パーティー



歓迎パーティーで 御宿でパネルディスカッション



8月3日からは新習志野学生寮に移動し、日本語研修の合間にスカイツリータウンキャンパスや神田外語大を見学。成果発表会（駐日メキシコ大使館で開催）を終えて無事、修了証を授与された。

国立台北科

メキシコと台湾の学生を迎えた歓迎パーティーが8月3日、新習志野キャンパスの学生寮で開か

れ、国際色豊かな光景が繰り広げられた。メキシコからは日本語を学んでいる大学生・高

校生の男女10人。台湾からは国立台北科技大学の男女20人と張遠達さん（国際事務処行政組員）が来た

日。桑蓬寮・稽寮の寮生やデザイン科学科、未来ロボティクス学科の学生たちと教職員が迎えた。

技大の学生たちは、昨年7月に本学との間で締結した交流協定に基づき来日した。

デザイン科学学生の8点商品化

「海」をテーマに地元4企業をイメージして、デザイン科学科の学生がビーチサンダルをデザインし、優秀作品8点が商品化された。

各社による1次審査が5月に本学で開かれ、応募273作品から40作品（各社10点ずつ）を抽出

開催「そごう・西武」そごう千葉店主権、げんべい商店共催）で一般公開され投票の結果、優秀8点の商品化が決まった。

ビーチサンダル専門店「げんべい商店」（神奈川県三浦郡葉山町）が製作を受け持ち、8月7日から、そごう千葉店5階紳士服フロアで300足が限定販売された。サイズは24センチと27センチ、税込み価格2160円。

初日は、デザインした学生たちが店頭で販売。優秀作に選ばれた長嶋唯さん（デザイン科学専攻修士1年）は「自分がデザインしたビーチサンダルが店頭で並び、『珍しいデザインでかわいい！』などと、さまざまな感想をいただきました。うれしかったです。宮崎さん（同）は「限られた面で御宿ビーチとベイエムを合わせて表現することが難しかったです」と語った。

また、岩本早季子さん（デザイン科学科4年）は「はいた人の気分が高まるような商品に出来た。小田彩花さん（同3年）は、稲毛海岸とヨットハーバー、そごうをイメージした1足。ぜひ、はいてほしい」と話した。



そごう千葉店での一般公開



優秀作品に選ばれ、初日、店頭で販売する宮崎さん(左)と長嶋さん

茨城高専と連携協定

グローバル化推進へ相互協力

工業高等専門学校と「包括的な連携に関する協定」を

結び、8月17日、小宮一仁学長と写真左

から2校だけ選ばれたグローバル高専モデル校で、国際的に活躍する人

材を輩出するプログラムを順次実行に移している。国際的に活躍できるエンジニアを育成するために、英語による授業、英語による研究発表、海外インターシップなどを推進。英文図書

の受け入れや教職員、研究者および学生の交流

共同研究▽研究施設、設備の相互利用▽研究資料、刊行物および研究情報

の交換▽社会貢献活動

など。



本校は茨城工業高等専門学校と「包括的な連携に関する協定」を結び、8月17日、小宮一仁学長と写真左から2校だけ選ばれたグローバル高専モデル校で、国際的に活躍する人

材を輩出するプログラムを順次実行に移している。国際的に活躍できるエンジニアを育成するために、英語による授業、英語による研究発表、海外インターシップなどを推進。英文図書

の受け入れや教職員、研究者および学生の交流

共同研究▽研究施設、設備の相互利用▽研究資料、刊行物および研究情報

の交換▽社会貢献活動など。

原寸D51 段ボールで

▼ 本学40人 公開組み立て



完成した原寸大蒸気機関車「D51」

大型ショッピングモール「イオンモール幕張新都心」(千葉市美浜区)で8月27、30日、「SL博物館」が展示された。

本学デザイン科学科などの学生たち約40人が、段ボール工芸家・島英雄さん(65)と長崎県南島原市在住の協力者で段ボール製の原寸大蒸気機関車「D51」模型の公開組み立てを行い、31日には解体作業をした。

学生たちは開館前日の26日、買い物客が行き交う広い会場で組み立てを始めた。ボイラー、シリンダー、車輪、板ばね、ボルトなど、D51の実物図面から正確に作られた段ボール製パーツは約1700個、段ボールにして約4千枚から成る。島さんは学生たちにセ

ンチ、ミリ単位で調整を指導。やがて全長19・7m、高さ4m、幅3m、総重量1・5トンの、見上げるように迫力ある蒸気機関車が、段ボール製の仮レール上に出現した。前部には「千葉工業大学×イオンモール幕張新都心」の円いマークが付けられた。



段ボール工作のサポートも



公開組み立てをした学生たち



動輪部も精巧に

「ゼロから作るのほんなに大変なんだ、と学生たちに知ってほしかった。身近な段ボールも4千個集めたらこんなものが、というところを分かってもらえたら幸せ」と語った。

「SL博物館」は昨年、長崎県で展示以来、全国を巡回し、関東では今回が初展示。参加学生を募った入試広報課の高松祐輔主任は「実際に形になって、その大きさに驚かされました。学生たちも貴重な経験ができたのでは……。ヘッドマークとTシャツもデザイン科学科学生が作成し、来場者に千葉工大の協力をアピールできたと思う」と語った。

いま本学OBは正社員だけで12人。循環社会型ビジネスを展開する松田産業株式会社(本社・東京)の総勢175人の中で多いのか少ないの見方は分かれるが、馬場信明さんと吉成敦さんは自らに引きつけながら、「大学で学んだことと違う畑を走ってきまして」と明るい。新宿副都心にある本社で学生時代を語ってもらった。

活躍する 校友

松田産業株式会社取締役(メンテナンス事業部長)

馬場 信明氏 (59歳)
(昭和53年、金属工学科卒)

同社法務部長

吉成 敦氏 (60歳)
(昭和54年、工業化学科卒)

資源再生にかける 共に「柔軟思考」で



馬場さん(左)と吉成さん

長崎県島原市育ちの馬場さんは福岡市で受験し、現役で本学へ。3年間を千種寮で過ごした。一時テニス部に入ったものの、「寮生じゃあ続かん」とあっさり退部させてくれたほどバ

ンカラ集団の勇名はどろどろいていた。風呂で先輩の背中流し、酒宴、集台、麻雀

「代返ありの雀荘直行

1970年代の津田沼キャンパス。金属工学科と工業化学科は1号館のそれぞれ1階と2階にあった。学

バス発着所あたり。「でも一度もすれ違わなかったね」と、2人は顔を見合

「3年前、6世代の寮生が集まって一杯やったら、昔仲良くなかった者同士、喧

嘩してました。人は変わらんものです」と懐かしそうに笑う。

「折りしも世は石油ショック(第1次73年、第2次80年)のさなか。「田舎へ帰ろうかと一時悩んだ」(馬場さん) ほど就職難だった。

境部門)、半導体工場などのスクラップからの貴金属回収製錬ビジネス(貴金属部門)、近くのマヨネーズ製造工場で不要になった卵白を、かまぼこ素材や印刷材料へつないだ再生発想が

その翌年、「公害処理のバイオニア マツダグループの見出しが踊る雑誌記事に目をとめた吉成さんも、写真定着液から臭化銀を回収したり産廃処理をする「マツダ化学」へ。このころグループ社員は270人ほど。

配属を希望したら、上司は『よし、分かった。キミは営業だ』ですからね」と吉成さんは苦笑する。名古屋、大阪、仙台の営業所や子会社の社長をへて2008年、法務部長に。馬場さんも新日本製鉄と共同出資の日鉄マイクロメタル(87年)の立ち上げに現・日鉄住金マイクロメタルに奔走するなど社外との付き合いが長い。取締役就任は2010年である。



サイバーウイルスから逃げろ！

▼ 夏企画に100人、新習志野キャンパスで

毎年恒例、学友会主催の夏企画（実行委員長・上野奈々さん）プロジェクトマネジメン（ト学科3年）が6月28日（日）、新習志野キャンパス全域を舞台に開かれ、学生ら約100人が参加した。写真。

今年の設定は「TAIL HUNTING（Cウイルスの逆襲）」。

C（サイバー）ウイルスの侵略から身を守るというゲームで、進行役にキャラクター「オペレーター」のBECKYが登場。ハーフパンツやTシャツの男女学生たちは、ストーリーを楽しみながら、12万4千平方メートルの広大なキャンパス内をひたすら走って逃げ回り、生き残りへ決戦を繰り広げた。

参加者たちは「久々に全力で体を動かすことができて楽しかった」「進行役が面白かった」と感想を述べた。

実行委員長の上野さんは「今年は雨天で1週間延期になり、参加者が減ってしまった。悔しい思いもしたけれど、開催出来てうれしく思います」と感謝の言葉を述べた。



お気に入りの浴衣を着こなし記念撮影



タイ文化と食を体験

▼ 交流セミナーで市民ら40人

近隣市民を対象とした国際交流セミナー（国際交流委員会主催）が8月1日（土）、津田沼校舎4号館の懇談コーナーで開催された。「タイの文化と食の体験」をテーマに市民30人を招き、本学の学生と合わせ約40人が、昼食を挟み約2時間、タイの世界を楽しんだ。

タイからの留学生アカーウィパート・ナチャボンさん、ウィフライッタナ・ペンヒモンさん、ガーンフタン・マナッサウイさん、プアクリー・ドゥサディさん（いずれもマネジメント工学専攻修了）の4人が講師を務めた。

「タイの歴史、文化を楽しく紹介した。会場には、タイカレーや現地地産の飲み物、お菓子が用意され、留学生と地域の人々との交流があった」と感想が寄せられた。

浴衣 着こなししたい

▼ 今年も女子に講習

女子学生を対象にした「浴衣の着付け」が6月17日に津田沼、24日には新習志野の両校舎で開催された。

学生センターが▽友達づくり▽体力づくり▽スキルアップ・マナーをテーマに2010年から取り組んでいる学習支援プログラムの一つ。浴衣は3年目で、新入生のほか、リニアfan代表、山邊友子さん率いる4人の

天文研究部（部長・三五ちはるさん）生命環境科学科3年）主催の観望会が、8月5日午後6時

寄贈に感謝 観望会

▼ 天体望遠鏡がある御宿で



講師を迎え、レッスンをスタート。色とりどりの浴衣・帯セットから自分に似合う一枚を選ぶ。グループに分かれてからは、着付けのほか、柄選びのポイント、立ち振る舞い、たたみ方、手入れ方法まで、短時間に多くのことを学んだ。

どの学生も着付けを繰り返すうちに、早くきれいに着こなせるようになった。

今年も留学生も参加した。今年も楽しかった。たくさん写真も撮れてうれしかった。「浴衣は、着物より簡単に着られ、よい経験になった。帰国したら着る機会がなく、残念です」と話していた。

女子限定の催しは4年後6時には全員が集合。天文部員がお礼の言葉を述べた。

天体望遠鏡はセンターの海側に広がる庭に設置され、子供たちは順番に望遠鏡をのぞき込んだ。「見えた！」「絵みたいにかい」と夜空を不思議そうに仰ぐ子どもたち。お母さんたちも「初めて見た」（土星の）輪っかが本当にある」と、喜びの声を上げていた。

発見！ 未来人

しのはらプレスサービス株式会社
電気制御部係長

まつもと 陽祐さん

2005年、電気工学科卒

在学中は「Bluetoothを使用したデータ転送」の研究に取り組みました。また、LEGOブロックを使った制御の実験が印象に残っています。

現在の仕事は、プレス機械または付帯装置の電装品に関するハードとソフトの設計。自分が設計した通りに装置が動いたときに感じる達成感は何とも言えません。また、他の部署の人たちと協力し合っ一つのものを作り上げることや、装置を納めたお客さまから頂く「ありがとう」の一言が大きなやりがいです。

しのはらプレスサービスは年齢や社歴に関わらず、仕事で活躍できる会社です。新入社員でも第一線で仕事で



電気制御部の職場で

きます。また、「自己満足度をUPする」という企業理念も自分に合っていると思います。今後はさらにより良い商品を開発して、プレス業界に貢献したいと思っています。

事業内容	さまざまなものづくりに欠かせない「プレス機械」の総合的なメンテナンス、エンジニアリングを行い、お客さまのニーズにお応えしています。
所在地	〒273-0016 千葉県船橋市潮見町34-2

燃焼サイエンス

ロボットを操る

今年も現代産業科学館で

夏休みの小学生向け「サイエンスショー」が7月28日、千葉県立現代産業科学館(市川市鬼高)で開かれた。小学生・父母たちは昨年より約30人多い110人が参加。本学教育センターの半沢洋子教授

(化学)と千葉県警科捜査研究所の金子毅さんが実験して見せた。酸化現象など自然の不思議をイラストで解説。さまざまなものを燃やす実験をした。

鉄も燃えるか……。ヤスリで削った鉄粉やマグ



ロボット操縦を体験する子どもたち



鉄などを燃やすサイエンスショー

新工学部を控え過熱

7月オープンキャンパス

今年度初のオープンキャンパスが7月19日(日)、津田沼キャンパスで開かれた。3連休の中日でもあり、関東以外からも高校生や父母たちが訪れ、来場者は過去最高の5533人を記録。受付から通用門を超えて



①受付で資料をもらう高校生
②進学相談コーナーで
③AO入試説明会の会場

長蛇の列となった。来場者たちは次々にプログラムや配布資料を受け取って、目当てのイベントへ足を運び、メインイベント「全部見せませ、千葉工大!」(2号館大教室)はたちまち満



席に。AO入試説明会には4号館4階の2教室で開いたが、開始の15分前に満杯に。開催回数を急



ネシウムリボンに、バーナーを近づけると、火花

8月1日には同館で、総合工学研究会(部長・

下吉拓明君)未来ロボテ

この後、学生たちの指導で、子どもたちがコントローラーを操縦。パ

きよ増やすなど、スタッフらは対応に追われた。

下吉拓明君(未来ロボテイクス学科3年)のメン

2足歩行ロボットをフ

などの動きを披露した。

真夏日となり、うちわ

新工学部の開設を控え、今年度会場は学科ブ

今年度はサメが海水浴場で発見され、遊泳禁止とする海水浴場がある

PPA



が子供の頃も同様に海水浴場で目撃されたという

サメはよく出現していた

今年も待ちに待った季節限定トマトジュースが

四季雑感



お取り寄せ歴は長いらしく、料理にも使っていると聞き、私も煮込み料理

うに、毎日食べ続けると病氣予防になります。赤い色素成分の「リコピ

編集だより



毎年、夏休みは子供たちの宿題がいつ終わるか

来場者への対応はもうろん、ひっきりなしに訪れる

自治会の皆さん。それぞれのイベントで規模や形

東京スカイツリータワー

さらには、TV撮影で

大橋 慶子